

vol.36

2022.11.25

# 重度障がい児支援 花色



みんな  
がんばって～

## NEWS LETTER



### みんなで避難訓練



9月27日、今年の避難訓練は、ご近所の皆様と一緒に行いました。「わたし達にも、何かできるのかしら？」と集まって下さいました。花色は、利用児1人に対し、1名の職員がいるとは言え、歩いて逃げる事が難しいので、避難時に見守りや、車いすを押して下さる方がいて下さる事は、とても心強いです。この日は避難所になっている“北部住民センター”までの300mを一緒に車椅子を押しました。「歩道って、上がったり下がったり。車いすでも押しづらいのね。」と、声があがりました。行ってみると、気づく事が色々あります。今回の避難訓練も、昨年に続き“減災ナースの岡田さん”が旭川厚生病院から応援に来てくださり、一連の避難訓練の評価をして下さいました。医療的ケア児



だからこそ、災害時のあらゆる事を想像しなくてはいけない事もあります。花色では現在、福祉避難所の申請をしています。困った時には、いつも利用している花色を思い出して欲しいと願い申請しました。そして、朝礼では災害対策委員会が、災害や救急時の担当者決めを行っています。当たり前の生活ができていたからこそ、大変な日を想像して冷静に準備をする事が必要です。どんな時も、保護者様も、子ども達も、一人だけで不安をかかえないで欲しいと願っています。コロナが落ち着いたら、地域の方々と、もっと交流をとりながら、花色の子ども達の成長と一緒に見守って頂きたいと願っております。



車椅子を押してみよう。  
車椅子に乗ってみよう。



### 新しいお友達

花色に新しいお友達が入りました。2歳の女の子「りこちゃん」と6歳の女の子「らいらちゃん」です。体力がつくまで、お昼寝をしながらゆっくり過ごしていきます。

よろしく  
お願いします



「いっぱい遊ぼうね！」

### 事業所評価

令和3年度の事業所評価(保護者様アンケートと、職員アンケート)の集計結果を花色ホームページに添付いたしております。皆様のご協力ありがとうございます。今後も子ども達にとって、より良い花色を作って参ります。宜しくお願致します。



花色に  
連絡をください。

花色を開設した時は、1か月に100枚の名刺を渡して歩きました。各自治体、病院、関係機関、地域の会社、親子が集まっている所にご挨拶に伺いました。そして、孤立しているお母さんとお子さんがいたら教えて欲しいと声をかけて歩きました。

5年がたち、いつの間にか名刺は年に100枚程しか使わなくなっていました。そんなある日、「友達の子どもが、脳性麻痺で。保育所が見つからないと言ってます。花色を教えてもいいですか？」と、名刺を元に、声をかけてくれた方がおり、ハッとしました。昨年からは医療的ケア児支援法もできてサポートの形ができてつつありますが、反対に医療的ケアがなく、孤立している親子がいるのかもしれない。「まず、お電話下さい。

遊びに来て下さい。花色に限らず、きっとあなたを待っている保育園や福祉事業所があります。」繋げていく事もできます。これからも、困った時には「とりあえず花色。」を思い出して下さい。



待ってます



看護師さん  
いつもアリガト

どうぞ  
めしがれ〜

vol.36

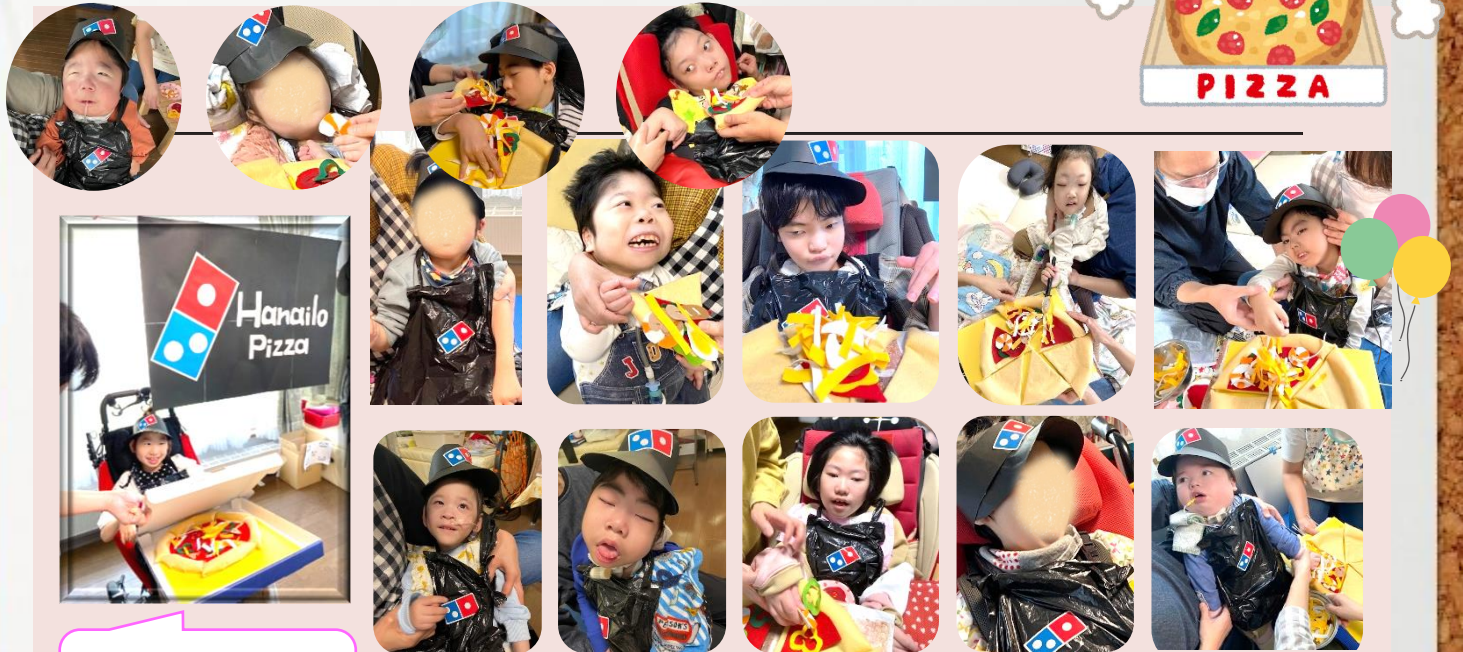
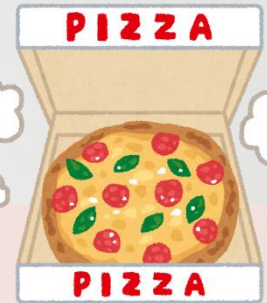
2022.11.25



## 重度障がい児支援 花色

# NEWS LETTER

## Hanailo pizza



ドミノピザ春光店さんが、  
ピザの箱を快く提供してく  
れました。『アリガトウ!』

## 経腸栄養接続コネクタ その後

日本では20年程、医薬発888号(旧規格/黄色)コネクタを経管栄養の注入の際に使ってきましたが、誤接続防止のため、ISO80369-3(紫)という国際標準規格へ移行することが求められています。実は、これは国家レベルで協議された上で、医療上で用途別にサイズを変更するという考えになり、すでに神経麻酔コネクタや、尿道カテーテル、胸腔ドレイン等は、変更されておりました。



この、888(旧規格)コネクタは、日本の言わばローカル規定のような形で使われてきた為、寸法の規定がありません。在宅で経管栄養の注入を行う時には、家族の手で行いますので、誤接続は想定されず、「なぜ?」と思われる方も多かったのではと思いますが、急性期の医療現場では国際的に、この誤接続が問題になっていました。急いでいる時に間違えて接続してしまう危険があるからです。

医療安全向上のために、国家間の協定として用途別にコネクタを作る国際規格の整合化をとる事になり新規格コネクタの使用へと移りつつあります。この為、アバンス(ミッキー)もフジシステム(GB)でも、色々試行錯誤している所ではありますが、この国際規格整合を無視せずに新たなデバイスを作るというのは、たくさんの条件をクリアしなくてはならず、なかなか難しい所もあるようです。

<医薬発第 888 号と ISO80369-3 の形状の違い>

	医薬発第 888 号	ISO 80369-3
投与側 栄養セット・注入器	オスコネクタ	メスコネクタ
留置側 カテーテル	メスコネクタ	オスコネクタ

現在、花色では新規格のコネクタを使用しているお子様が増えおります。看護職が新規格コネクタを使用した感想といたしましては、ミキサー食は、意外と新規格のコネクタでも注入ができています。(メリットとデメリットにつきましては、はるたか会のHPIにわかりやすく掲載されております。ご参考にしてください。)



新規格も旧規格も、まだ選択ができる状態でもありますが、製造としては両規格を作ることは企業もコスト的に厳しく、旧規格の製造量は少しずつ減り、価格も上がることは避けられない状態のようです。誰もが安全に、そしてミキサー食でお食事を楽しみ、合併症予防として、また微量元素をとりいれながら、これからもより良い暮らしを送れますように願います。